

区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。



日本共産党荒川区議会議員

齊藤くに子
区政ニュース

メール:arajcp@tcm-catv.ne.jp
区議団http://www.jcp-arakawugidan.jp/
くに子ブログhttp://s-kuniko.jugem.jp/



2024年11月17日No1366

区役所直通3802-4627

fax3806-9246



★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談 第四月曜日が休日のため

11月25日(月) 18時~

★8月の定例は夏休みではありません。

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活相談は随時対応に応じます。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

定例法律相談は予約制として密の状況をつくるないようにしたいと思います。

宜しくお願ひ致します。

①18:00~18:30

②18:40~19:10

③19:20~20:00

事前にご連絡ください。

区長選挙結果

11月10日投票で行われた区長、区議会議員補欠選挙で、新区長に滝口学氏が、自公推薦の町田氏を破り当選し11月14日に就任。

全国の自治体で自公推薦候補が敗れ、総選挙で自公政権を過半数割れに追いついた有権者の選択が、今回の荒川の区長選にも大きく影響する結果となりました。

歴代の荒川区長

田中国男 1947年~1951年

村上勇三郎 1951年~1970年

国井郡弥 1970年~1979年

町田健彦 1979年~1989年

藤枝和博 1989年~2001年

藤沢志光 2001年~2004年

西川太一郎 2004年~2024年

な区政運営をすすめるのか区民目線でしっかりチェックしていきたいと思います。

新区長は西川区長の応援ももらい、西川区政を引き継ぐことになりますが、一方で選挙公報には「コミュニティバスの縮小に待った!」「小児高齢者インフルエンザ予防接種の無償化」などを掲げています。

11月12月の議会日程も決まり、11月28日からは新区長のもとでの本会議質問

が行われます。どんな区政運営をすすめるのか区民目線でしっかりチェックしていきたいと思います。

みらいへつなぐ
あらかわ新時代
3つのつなぐビジョン

1 世代をつなぐ
2 地域をつなぐ
3 みんなの力をつなぐ

コミュニケーション
地域活性化
まちづくり

区民の健康を支援!

手ぶらで楽しめる子育て施設!

重視する9つの政策分野の実現にむけた取り組み

区議会議員3期の実績

西川区長
西川太一郎

たきぐち字
無所属 54歳

2024年11月10日投票 11日開票 荒川区長選挙

	2024年11月10日 当日有権者数169,606 投票率38.56%	2020年11月8日 当日有権者数168,350 投票率31.85%
もぎ正道 (無・新:共産推薦)	6,658 (10.34)	湯川一俊 (29.15) (無・新:立・共・社支持)15,252
滝口がく (無・新)	30,455 (47.29)	
町田たかし (無・新:自・公推薦)	27,285 (42.37)	西川太一郎 無・現: 自・公推薦 37,066 (70.84)
合計	64,398	37,066 (無効票1,013) (無効票1,305)

2024年 区議会議員補欠選挙(定員1)

投票日 当該有権者数 投票率	(今回) 2024年11月10日 169,606 38.56% 得票数 (得票率%)
小林ひろし (共産・新)	12,171 19.24%
土橋けいこ (自民・元)	23,453 37.08%
岡野げんき (無・新)	14,375 22.73%
山川ゆうな (無・新)	13,242 20.93%
合計	63,241 (無効票 2,156)

区議補欠選挙では日本共産党新人、小林ひろしさんは有権者の皆さんに顔と声を届けたのは、選挙本番が初めてでした。たった一週間で12,171票の支持を受けたことは、次への大きな財産となったと思います。

日本共産党荒川区議団は、選挙で訴えた学校教材の無償化、介護保険料の引き下げ、高齢者補聴器購入助成の充実、地域公共交通の充実、銭湯への支援、防災のまちづくりなど公約実現に向けて引き続き、区民の皆さんと共に力を合わせていきます。

自民党さん公明党さんへ ~教材費などの無償化を求めてください~

葛飾区では来年4月から実現

区独自
23区初

修学旅行費の無償化

概算 2億3,200万円

☆中学3年生を対象とした修学旅行(2泊3日)

保護者負担額 約80,000円

対象人数 約2,900人



移動教室費等の無償化

概算 4,900万円

☆中学2年生を対象とした移動教室(2泊3日)

保護者負担額 約3,000円

対象人数 約2,900人



☆小学6年生を対象とした林間学校(2泊3日)

保護者負担額 約2,800円

対象人数 約3,400人

☆小学5年生を対象とした臨海学校(2泊3日)
保護者負担額 約8,800円
対象人数 約3,400人

各校共通の副教材費の無償化
概算 4億2,000万円

☆各校で共通して使用しているテスト、ドリル、実験教材費等の無償化を進めます

区独自

区長選での青年会議所主催の公開討論会で、自公推薦町田たかし氏は「これからはしっかりと子どもたちに、均等に教育の機会を受けてもらいたいをいうことで、副教材、ドリルだとか修学旅行、臨海学校のお金を荒川区で持って教育費の無償化、家庭の負担軽減につなげていきたいと思っています」と発言していました。

区長にはなりませんでしたが、推薦した自民公明議員のみなさんの公約でもあると思います。

私たちも教材費の無償化を求めてきましたから、新区長の初議会で問いたいと思います。ぜひ一緒に区民の声を届け実現させてていきましょう。葛飾区では来年4月から実施予定です。

町屋駅周辺で次々とスポーツジム



私もスポーツジムの会員になっていますが、この間ケガと選挙続きで思うように行かれません。

町屋周辺にスポーツジムが次々と開店しています。こんなに出来て営業していくけるのでしょうか。24時間無人施設です。

仕事に行く前の早朝に、仕事帰りの遅い時間に、隙間でチョコっと…でしょうか。「スポーツを楽しみたいけど、時間もお金もない」月に3,4千円でいつでもが受けるのかもしれませんが…

仕事もスポーツもで、かえって体を壊さないか心配です。労働法制の規制緩和によって、異常な長時間労働と低賃金が拡大してきました。

欧州諸国に比べ日本の労働時間は年300時間も長く、実質賃金はこの10年余で年間33万円も低下しています。

そのもとで、とくに働く世代を中心にスポーツする余裕が奪われています。スポーツは健康増進や人との交流、豊かな人間性を育み、子どもたちの成長にも寄与しています。その観戦も生活の楽しみを広げます。だれもが健康で文化的な生活を営む権利があり、国はそれを保障する責務があります。

一日7時間週35時間労働で自由な時間を

スポーツ庁のスポーツ実施率(週1回以上スポーツする人の割合)調査では、日本の半分の人がスポーツに親しんでいるとしています。

深刻なのは20代~50代の働く世代の落ち込み(40%台)で「仕事や家事が忙しいから」で、これが約半数を占め、「お金がないから11%」「子どもに手がかかるから8%」

海外のスポーツ実施率はスウェーデン69%、オーストラリア81%、フランス82%、デンマーク95%など、いずれも日本の52%を上回っています。

日本共産党は、賃上げと一体に労働時間の短縮(1日7時間、週35時間)を目指し、自由時間の拡大で思いっきりスポーツを楽しめる社会を目指しています。

マイナ保険証

国家公務員のほうが利用していないかった
推進する側なのに紙の保険証廃止に納得できる?

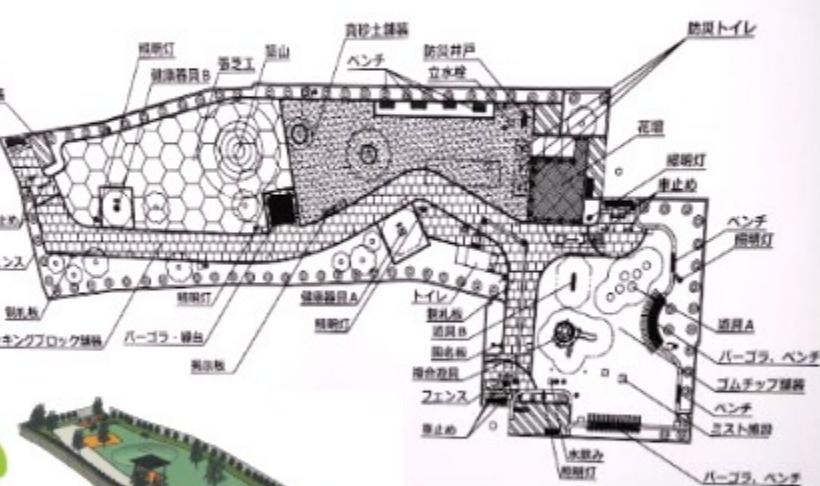
東京新聞の報道です。旗振り役の
厚労省でも20%に届かず。最低は外
務省の10.53%だった。



荒川地域で二つの公園の工事が行われています

荒川4丁目荒川図書館&旧教育センター
プラネタリウムの跡に(仮称)荒川四丁目公園が出来ます。

複合遊具、築山、健康器具、防災井戸、防災トイレ、ミストなどを設置し、工事は来年3月下旬までの予定です。



また元三菱サービスそばの荒川二丁目公園の拡張及び全面リニューアル工事(インクルーシブ遊具、ポール遊び場設置)も行われています。



くらしの風にやっぽりくに子

やっと一連の選挙も終わり、通常に戻りました。引き続き議会の委員会、本会議と続きますので、残念ながら休養が取れません。でも少しはどこかで骨休めをしたいと思いますが、議会は他の人に代わってもらうことは出来ませんので、しっかりやります。くに子ニュースの方も通常毎週発行に戻ります。

これからも情報提供、区民要望実現に力を尽くしてまいります。よろしくお願い致します